

1. 科目名 (単位数)	会計学 (2 単位)		3. 科目番号	SBMP2131						
2. 授業担当教員	孔 炳龍									
4. 授業形態	講義が中心となるが、講師からの一方通行ではなく、ディスカッション (学生からの講師への質問、学生間のディスカッション等) を伴ったものにする。		5. 開講学期	春期						
6. 履修条件・他科目との関係	「簿記」や「会計学入門」履修後の受講が望ましい。									
7. 講義概要	近年の会計制度の状況を踏まえ、会計学の基礎的な理論を把握するのがこの授業の目的である。財務会計の目的は、会計の財務状況を投資家などの利害関係者に知らせるものであり、そのために、会計の基礎概念、財務諸表の作成ルール、現金、手形、商品取引、資金調達、収益と費用、決算手続等についても解説を加える。財務諸表の利用者 (債権者や株主などの利害関係者)、経営者の会計に関する行動などについても解説を加える。将来、就職した先や自分で立ち上げる事業所等の経営に役立てるようにする。									
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個人商店や会社について、その財政状態や経営成績を表す財務諸表の読み方を知り、説明できる。</li> <li>2. 収益と費用と測定して利益を計上するという過程の基礎にある会計理論を学び、説明できる。</li> <li>3. 資産項目、負債項目、資本項目の課題と評価について理解し、説明できる。</li> <li>4. 会計情報を活用した経営改善について理解し、説明できる。</li> </ol>									
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	課題レポートは授業内で指示する。									
10. 教科書・参考書・教材	[教科書]孔炳龍著『会計学 (理論編)』協進社、[教科書]孔炳龍『会計学 (計算編)』協進社									
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. テキストの輪読を通じて、会計学の基礎知識が理解できているか。</li> <li>2. レポート課題に対して的確に検討し、会計情報を活用した経営判断ができるようになってきているか。</li> <li>3. 期末試験を通じて、会計用語等を理解し、説明できるようになっているか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業への積極的参加</td> <td>総合点の 10%</td> </tr> <tr> <td>2. レポート</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>3. 期末試験</td> <td>総合点の 60%</td> </tr> </table>				1. 授業への積極的参加	総合点の 10%	2. レポート	総合点の 30%	3. 期末試験	総合点の 60%
1. 授業への積極的参加	総合点の 10%									
2. レポート	総合点の 30%									
3. 期末試験	総合点の 60%									
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 本講義では、会計理論を理解するために、計算例を用いて具体的に明らかにしていきます。会計理論と共に計算も学びましょう。テキストは必携です。</li> <li>2 本講義における双方向対話型授業の効果を最大限生かすためには、積極的に質問することが大切です。そのためには、事前に予習するようにしてください。なかには、予習してもわからない部分もあるかと思いますが、その場合、授業中に質問するようにして下さい。</li> </ol>									
13. オフィスアワー	授業中に連絡します。									
14. 授業展開及び授業内容										
講義日程	授業内容	学習課題								
第 1 回	オリエンテーション：会計の基礎	事前学習	事前に会計とは何かをインターネットで調べること。							
		事後学習	会計の定義や役割についてまとめる。							
第 2 回	会計理論の基礎構造	事前学習	理論編 pp. 3-4 を読むこと。							
		事後学習	会計準則と会計主体論をまとめる。							
第 3 回	一般原則	事前学習	理論編 pp. 5-8 継続性の原則の前までを読むこと。							
		事後学習	真实性の原則、正規の簿記の原則、資本取引・損益取引区分の原則、明瞭性の原則をまとめる。							
第 4 回	一般原則と重要性の原則	事前学習	理論編 pp. 8 継続性の原則～p. 10 を読むこと。							
		事後学習	継続性の原則、保守主義の原則、単一性の原則、重要性の原則をまとめる。							
第 5 回	会社法会計	事前学習	理論編 pp. 11-16 を読むこと。							
		事後学習	会社法会計をまとめる。							
第 6 回	金融商品取引法会計	事前学習	理論編 pp. 17-20 を読むこと。							
		事後学習	金融商品取引法会計をまとめる。							
第 7 回	貸借対照表の会計理論	事前学習	理論編 pp. 21-24 を読んでください。							
		事後学習	貸借対照表の本質についてまとめる。							
第 8 回	資産の会計理論：棚卸資産の取得原価等	事前学習	理論編 pp. 27-30 の棚卸資産を読むこと。計算編 pp. 1-11 を読んで、例題の記入をする。							
		事後学習	計算編の問題 1 を解くこと。							
第 9 回	資産の会計理論：棚卸資産の減耗損等	事前学習	計算編 pp. 15 棚卸減耗費・棚卸評価損～p. 16 を読んで、例題の記入をする。							
		事後学習	計算編の問題 3 を解くこと。							

第10回	資産の会計理論：有価証券	事前学習	理論編 pp.25-27 の棚卸資産の前までを読むこと。計算編 pp.17-23 を読んで、例題の記入をすること。
		事後学習	問題 4 から問題 8 を解く。
第11回	資産の会計理論：固定資産等	事前学習	理論編 pp.31-40 を読み、計算編 pp.26-29 を読んで、例題の記入をすること。
		事後学習	問題 10 から問題 12 を解く。
第12回	負債と純資産会計理論	事前学習	理論編 pp.41-48 を読み、計算編 pp.24-25 を読んで、例題の記入をすること。
		事後学習	問題 9 を解く。
第13回	損益計算書の会計理論	事前学習	理論編 pp.49-54 を読み、計算編 pp.30-32 を読んで、例題の記入をすること。
		事後学習	問題 13 から問題 14 を解く。
第14回	収益・費用の会計理論	事前学習	理論編 pp.55-60 を読み、計算編 pp.12-15 棚卸減耗費・棚卸評価損の前までを読んで、例題の記入をすること。
		事後学習	計算編の問題 2 を解く。
第15回	キャッシュ・フロー計算書	事前学習	理論編 pp.61-63 を読み、計算編 pp.33-36 を読んで、例題の記入をすること。
		事後学習	問題 15 を解く。
期末試験			